

DON及びNIVの国際的な評価状況(概要)

参考資料 3

<DON>

EU 食品科学委員会(SCF)(1999年)
Iverson et al.(1995年)から
NOAEL 0.1mg/kg体重/日

(UF:100)

暫定耐容一日摂取量(t-TDI)
1 μ g/kg体重/日

JECFA(2001年)
Iverson et al.(1995年)から
NOAEL 0.1mg/kg体重/日

(UF:100)

暫定最大耐容一日摂取量(PMTDI)
1 μ g/kg体重/日

<NIV>

EU 食品科学委員会(SCF)(2000年)
Ohtsubo et al.(1989年)及び
Ryu et al.(1988年)から
LOAEL 0.7mg/kg体重/日

(UF:1000)

暫定耐容一日摂取量(t-TDI)
0.7 μ g/kg体重/日

(グループTDIの設定について)

○EU 食品科学委員会(SCF)(2002年)

トリコテセン類の複合影響については、入手可能なデータが限られており、グループTDIの設定の裏付けにはならない。

○JECFA(2001年)

食品中に存在する可能性があるデオキシニバレノール及び他のトリコテセン類の複合影響に関する試験が必要である。トリコテセン類は、強さは異なっても同様な毒性を有するので、十分なデータが入手可能になった場合、毒性等価係数(TEF)を策定することを勧告する。